

|     |  |   |
|-----|--|---|
| I   | 会議地  | 岩沼市議会議事堂議員全員協議会室  |
|     | 会議月日   | 平成30年6月21日(木)   |
|     | 会議先  | 公益社団法人 岩沼市シルバー人材センター  |
|     | 概要   | <p>(1) 出席者について<br/>                     公益社団法人岩沼市シルバー人材センター<br/>                     理事長 平田勉、副理事長 杉目正治、常務理事事務局長 伊藤孝見、<br/>                     理事 大槻勝博、理事 沼田文雄、職員 佐藤清子<br/>                     岩沼市議会建設産経常任委員会<br/>                     委員長 布田恵美、副委員長 高橋光孝、委員 布田一民、<br/>                     委員 須藤功、委員 佐藤淳一、(国井宗和委員は所用のため欠席)</p> <p>(2) シルバー人材センターからの説明概要について<br/>                     シルバー人材センター事業の概要の説明<br/>                     事業の目的としくみ、沿革と組織体制、岩沼市シルバー人材センターの歴史、概況、会員の状況、事業実績、生きがいと地域ニーズの結びつきについて、県内各センターの会員数及び契約金額、県内各市町の補助金額、岩沼市からの補助金額の推移など概要の説明が行われた。<br/>                     現在の課題について<br/>                     ホワイトワークとブルーワークの依頼と会員の希望職種の不マッチが多くなっている。受注単価の問題。市からの受注が現在約25%を占めているが、市の施設管理が指定管理者に移行されることにより、現在の市からの受注分が減っていくのではないかと危惧している。経費はかかっているが、管理能力をアップする目的もあり、現在派遣会社より派遣スタッフを利用している。などの課題が出された。<br/>                     市議会議員からの意見について<br/>                     市に対して営業を強化してはどうか、また市も指定管理に関する情報を早く発信し、指定管理者にもシルバー人材センターの情報をあらかじめ伝える等の策を取る必要があるのではないかと。特殊な仕事の受注(保育士・介護士)などは通常の会員募集以外に職種をメインとした会員募集を行い、シルバー人材センター＝草取り・草刈りのイメージ脱却を図ってはどうか。刈払機や生活支援員等講習を受講し、修了者の受注単価のアップと会員の質の向上を図ってはどうか。また、一部では、陰でタバコを吸って仕事をしていないなど聞くこともある。などの意見が出された。</p> |
| まとめ | <p>岩沼市老人クラブ連合会以来2度目の一般会議であったが、シルバー人材センターの内容や課題、様々な意見が活発に交わされ、議会側もシルバー人材センターの現状や課題をよく知る機会となり、シルバー人材センター側も外部からの新しい提言を聞く機会となり、更なるシルバー人材センターの発展に寄与できたのではないかと考える。</p> |   |